

# 「葉とらずGAP」作成

「葉とらずGAP」の認証書を掲げる木村代表



岩木山りんご  
出荷組合 産地の品質向上狙い

弘前市の岩木山りんご生産出荷組合（木村図代表）は、第三者認証機関・北海道有機認証センター（札幌市）との協働で「葉とらずGAP」を作成した。同組合は葉とらずリン

葉とらず栽培は、摘葉を控え果実に養分を多く伝えることで食味の向上を図る手法。ただ、見た目で適切な栽培管理がなされたかを判断するのは難しい。そこで同組合関係者が偽装の可能性を一掃する策として、生産者が取り組みやすい認証制度づくりを立案。同センターとともに、農場用と事務局用のチェックリストを整備した。

農場用チェック項目は大別して9項目で、日誌による作業記録、

葉とらず栽培の定義、共同防除組合の組織体系などが管理点に列挙されている。札幌から来弘した審査員による現場審査を経て、同組合が12月2日付で

第1号の認証を受け、有効期限は2年間。取材に対し、木村代表は「他のGAPは、葉とらずリンゴやこの地域と関連性が薄い項

目があり、いったん興味を持った人が煩雑に感じ離れてしまう場合も多い。誰でも取り組みやすい制度を何とか普及させ、全体の質の向上につなげたい」と

強調した。今後は同組合の個々の生産者に活用を促すほか、それ以外にも興味のある人に説明を行うとしている。  
(渋谷紘一)